

電波時計

(ディスクオルゴール掛時計)

〇〇〇 特 長 〇〇〇

★時刻を電波で修正

日本標準時を乗せた標準電波を定期的に受信することにより、クォーツ精度で動いている時計の時刻を標準時に自動修正します。

★眠る秒針

暗くなると秒針が停止して気になる音の発生を押さええます。

★ディスクオルゴール

正時になるとオルゴールがメロディを奏でます。

お買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
- この取扱説明書はお手元に保管して必要に応じてご覧ください。

目 次

1. ご使用上の注意	P.3
ご使用する上で守っていただきたいことが書いてあります。	
2. 電波時計について	P.4
電波時計の特徴やお使いいただける範囲などが書いてあります。	
3. ご使用場所について	P.5
時計を設置していただくときの条件などが書いてあります。	
4. 各部の名称と役割について	P.6
各部の名称やその役割について書いてあります。	
5. 電池の入れ方と時刻の合わせ方	P.8
電池を入れて受信するまでの手順が書いてあります。	
6. 電波サーチ機能の使い方	P.9
電波を受信しやすいところを探す機能の紹介です。	
7. 電波を受信できない場合	P.10
電波を受信できないときの対処方法が書いてあります。	
8. 明暗センサー	P.10
9. 電波受信機能のON/OFF操作	P.11
10. 電池交換時期お知らせ機能	P.11
11. 時計の掛け方	P.12
12. オルゴールの使い方	P.13
13. お手入れについて	P.15
製品仕様	P.15
アフターサービスについて	P.16
お問い合わせ先	P.16

1.ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



警告

電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。



注意

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

2. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

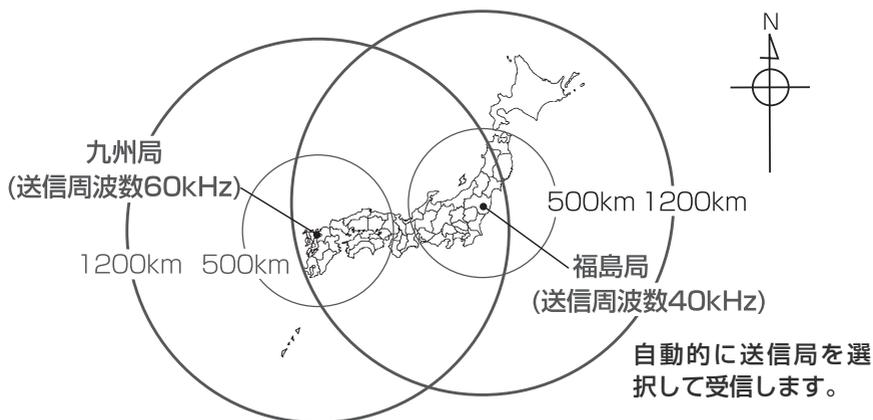
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



○標準電波の送信が止まる場合があります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので電波受信機能を停止させてお使いください。

3. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



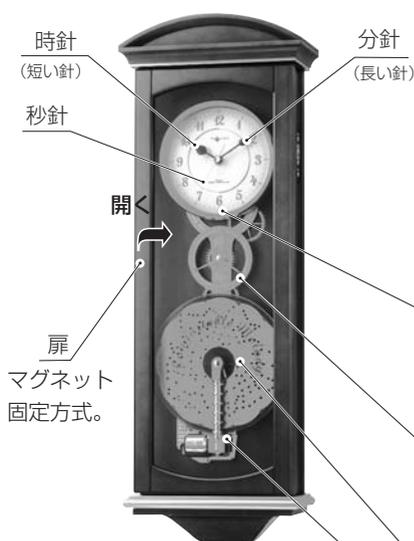
朝夕の時間帯、雨天のとき

下記のような場所では使わないでください。

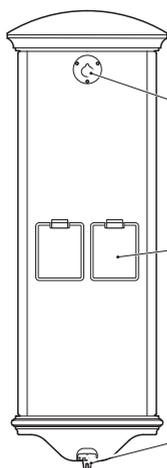
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まる場合があります。)
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

4. 各部の名称と役割について



〈正面〉



〈裏面〉

時計・分針の動きについて

自動修正：順方向または逆方向に早送りし、一時的に停止することがあります。
時刻表示：10秒単位に動きます。

秒針の動きについて

自動修正：早送りで動き、12時で停止することがあります。
時刻表示：滑らかな1秒ステップ。

明暗センサー

暗くなると秒針や毎正時のオルゴールを停止させます。

☞「8. 明暗センサー」(P.10) 参照

回転飾り

常時一方向に回転します。

※回転飾りのない商品もあります。

オルゴールディスク

オルゴール機構

☞「12.オルゴールの使い方」(P.13) 参照

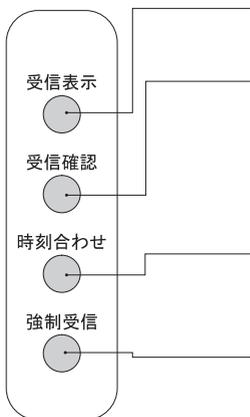


(回転飾りがなく商品例)

振れ止め

時計が傾かないように固定するものです。

図は説明用ですので形状などが商品と異なることがあります。



受信表示ランプ

受信の状態、結果を点灯、点滅、消灯で表します。

受信確認ボタン

電波受信の結果を受信表示ランプで確認するときに押します。

受信成功：受信表示ランプが点灯 (5 秒間)

受信失敗：受信表示ランプが点滅 (5 秒間)

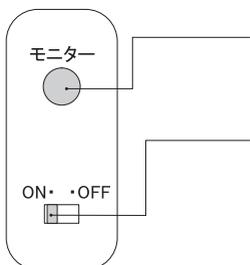
時刻合わせボタン

電波を受信できないとき、手動で時刻合わせをするときに使用します。

強制受信ボタン

電池を入れた／場所を変えた／誤表示をした／いずれかに該当したときに押します。

〈右側面操作部〉



モニターボタン

時報スイッチの設定に関係なく、オルゴールを鳴らすことができます。

時報スイッチ

ON：毎正時にオルゴールを奏でます。

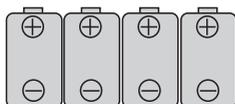
OFF：鳴りません。

※ ON の場合でも、明暗センサーが暗いと判別したときはオルゴールは鳴りません。

〈左側面操作部〉

付属品

単 2 形アルカリ乾電池



4 個

木ねじ (大)
壁掛け用



4 個

木ねじ (小)
振れ止め用



1 個

ディスク



曲名はディスクに表示

3 枚

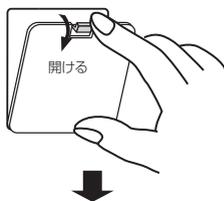
拭き布



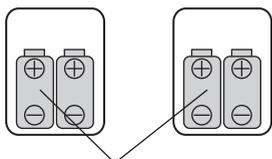
1 枚

5. 電池の入れ方と時刻の合わせ方

電池ぶたを取り外します



指定の新しい電池を入れます

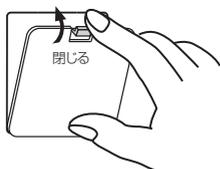


単2形アルカリ乾電池 4本

強制受信ボタンを押す



電池ぶたを取り付けます



受信表示ランプが消灯してから受信確認ボタンを押します



1. 電池ぶたを取り外す

2つの電池ぶたを取り外します。

2. 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて指定の電池をすべて入れます。電池の向きを逆に入れると時計は動きません。

3. 電池ぶたを取り付ける

4. 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが3秒間点灯し、針が動き出します。電波の受信を開始します。

電波の受信には最長15分程度かかります。

※誤作動防止のため、強制受信ボタンを必ず押ししてください。

※受信中はボタン操作をしないでください。

※この時計には電波サーチ機能がありますので、電波状態のよい場所を選ぶことができます。

☞「6. 電波サーチ機能の使い方」(P.9) 参照。

5. 時計を掛ける

「11. 時計の掛け方」(P.12) をお読みの上、落下しないよう確実に掛けてください。

6. 電波受信の結果を確認する

受信表示ランプが消灯していることを確認して、受信確認ボタンを押し、受信表示ランプの点灯、点滅で確認します。

受信成功：5秒間点灯→正しい時刻

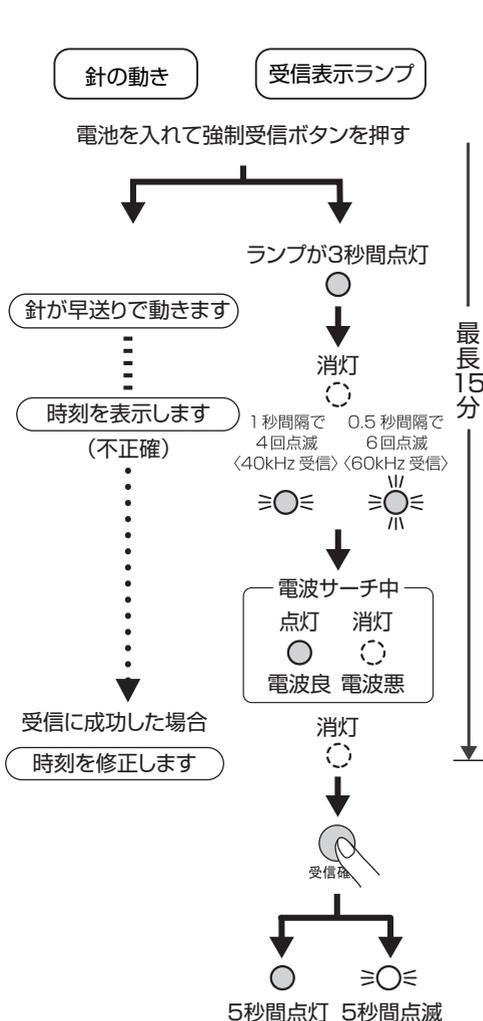
受信失敗：5秒間点滅→不正確な時刻

※まれに受信に成功してもノイズなどにより誤表示することがあります。強制受信ボタンを押して再度受信させてください。

※受信に失敗した場合は「6. 電波サーチ機能の使い方」(P.9) および「7. 電波を受信できない場合」(P.10) をご覧ください。

6. 電波サーチ機能の使い方

受信表示ランプの状態により、電波を受信できる場所かどうかを知ることができます。この機能は、電波受信機能が「ON」のときに使えます。



■操作手順

①窓際など電波が受信しやすいところで、「強制受信ボタン」を押す。

受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が順方向または逆方向に動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。

②15～45秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待つ
およそ1分以上待っても点滅しない場合は、時計の向きや場所を変えて①からやり直してください。

③受信表示ランプが点灯後、設置したい場所に時計を移動

④受信表示ランプの状態を確認する

電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

㊸消灯→電波を受信できません。

①からやり直し、設置場所や時計の向きを変えてみてください。

㊹不規則な点滅や短い間隔での点滅→電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。

㊺点灯→良好な電波状態です。

⑤受信結果を確認する

サーチおよび受信の時間は、強制受信ボタンを押してから最長15分程度で終了します。受信表示ランプが消灯していることを確認して、受信確認ボタンを押します。

7. 電波を受信できない場合

サーチ機能を使っても受信できる場所が見つからない場合は、2つの方法があります。

○ 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、翌朝まで様子を見ます。翌朝まで待っても受信できない場合は、夜間にサーチ機能を使って条件のよい場所を探してください。

○ 時刻合わせをしてその場所で使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時刻精度はクォーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を「OFF」にしてご使用ください。

手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作して任意の時刻に合わせることができます。

- ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。

時刻合わせボタンの操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。
- ※「秒」は時刻合わせボタンを押している間、「0秒」に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

8. 明暗センサー

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、毎正時のオルゴールを鳴らしません。

昼間や夜間照明時などでも明るさが不足するとセンサーが働きます。

9. 電波受信機能の ON/OFF 操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波の受信を停止することができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

- 電波受信機能を「OFF」にするには（停止するには）
強制受信ボタンを押し、その後、受信表示ランプの点灯に合わせ、強制受信ボタンを3回押します。（点灯したらにすぐに押してください）
ボタンを押すタイミングによっては、「OFF」に切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。
※電波受信機能が「OFF」のとき、強制受信ボタンを押すと、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。
- 電波受信機能を「ON」にするには（開始するには）
先に時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、強制受信ボタンを押して受信を開始します。
- 電波受信機能の状態を確認するには
強制受信ボタンを押します。
 - ON：受信表示ランプが約3秒間点灯します。
 - OFF：受信表示ランプは消灯したままです。

※この説明文の中で、「押す」は「押して、すぐ離す」ことです。

10. 電池交換時期お知らせ機能

電池交換時期になりますと、明るいところでも秒針が12時位置で停止し、毎正時のオルゴールが鳴らなくなります。時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間^注時刻を表示し続けます。また、モニターおよび時刻合わせボタンを押しても機能しなくなります。

電池の交換について

すべての電池をお早めに交換してください。「5.電池の入れ方と時刻の合わせ方」参照。
電波受信機能を「OFF」にしてお使いの場合は、時刻を表示後、手動で時刻を合わせてください。

※この時計は、アルカリ乾電池の特性に合わせて設計されていますので、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの不具合を生じることがあります。

注) ご使用状態により、この期間は前後します。

11. 時計の掛け方



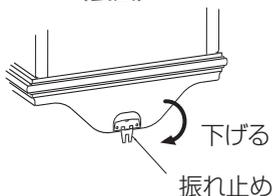
強制



注意

時計が落下しないよう確実に掛けてください。

(裏面)



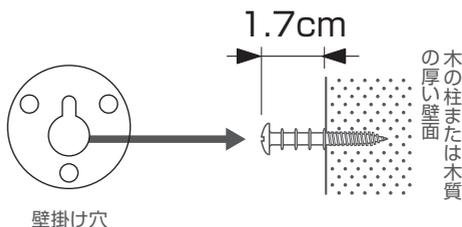
(正面)



扉の開閉時に時計が傾くのを防止するため、時計裏面の振れ止めを左図のようにしてから垂直に掛け、木ねじ(小ねじ)で固定してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじ(大)を使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

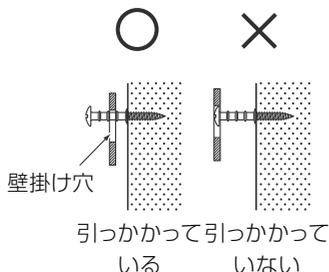


その他の壁面の場合

- 上記以外の場所(コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

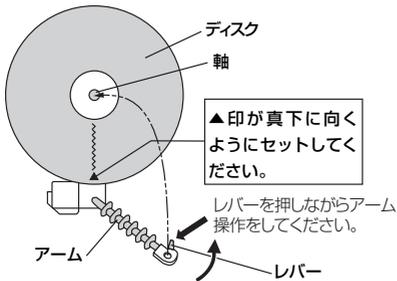
時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。



12. オルゴールの使い方

●オルゴールディスクのセットの仕方

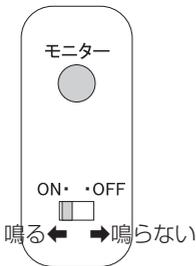


- ①扉を開きます。
- ②オルゴール機構のレバーを押しながら、アームを持ち上げて外します。
- ③好きな曲目の入ったディスクを選びます。
- ④ディスクの▲印を真下に向け、オルゴールの軸に差し込みます。
- ⑤アームをオルゴールの軸に差し込みます。このとき、アームがロックされている（カチッと音がする）ことを確認してください。
- ⑥扉を閉めます。

※アームをロックすると、ディスクは機構上、多少湾曲しますが問題ありません。

※ロックされない場合は、レバーを押しながらアームを持ち上げて外し、ディスクを入れ直してください。

●時報スイッチの設定



毎正時にオルゴールを鳴らすには、時報スイッチを「ON」にします。

時報スイッチが「ON」のときでも、暗くなると自動的に停止します。詳しくは「8. 明暗センサー」(P.10)を参照してください。

●試聴するには

オルゴールを試聴したいときには、モニターボタンを押してください。1曲奏でます。

※使用する前にオルゴールディスクをセットしてください。

※音量は調節できません。

●ディスクの寿命について

- 特定のディスクだけをご使用になりますと、通常のご使用状態で約 1100 日で寿命となります。
- 寿命が近づきますと音ぶれなどが発生しますので、定期的にディスクの交換をお勧めします。
- 使用したディスクは、油が付着しているため、付属の布できれいにふき取ってから、収納してください。

●ディスクの使用上のご注意

- オルゴール演奏中に、ディスクが停止したり、回転ムラが発生した場合は、付属のふき布でディスクの裏面（文字が印刷されていない面）に付いている油を、きれいにふき取ってからご使用ください。
- ディスクのお手入れについては、洗剤、溶剤等は使用しないでください。必ず、付属のふき布をご使用ください。

13. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのござれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用していると、静電気により壁面や時計が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

製品仕様

自動受信回数は、受信状況により受信を試みる回数が異なります。

条 件	受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少 1 回/日 最多 3 回/日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回/日 (2 時間間隔)

時間精度	標準電波の受信に成功している場合（受信直後） 表示精度 秒針 ± 1 秒 時計・分針 目盛りに対して 3 度
報時精度	電波受信に失敗または電波受信機能「OFF」の場合 平均月差 ± 20 秒（常温中のクォーツ精度） ± 1 秒以内（表示時刻に対して）
使用電池	1.5V 単 2 形アルカリ乾電池（JIS 規格 LR14）4 本
電池寿命	約 1 年間（1 日 17 回オルゴールを鳴らした場合）
機 能	毎正時オルゴール・オルゴールモニター 標準電波による時刻の修正・電波受信 ON/OFF 切り替え 受信表示ランプによる受信成功・失敗表示 電池交換時期のお知らせ 明暗センサーによる秒針停止・自動鳴り止め

※付属の電池は、工場出荷時に入れておりますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池の寿命は、電波の受信に成功して、1日7時間秒針が明暗センサーにより停止しているときのものです。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせ先

お問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号をお伝えください。（例 4MN〇〇〇）

お客様相談室 フリーダイヤル  **0120-557-005**

受付時間 9:00～17:45（土日、祝日および当社休日除く）

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

M256-BXXZ
(Y0603)